NIE実践報告

1．タイトル：**新聞を活用して、自己表現力を高めよう！**

2．学校名

大阪府四條畷市立田原中学校

3．実践者名（代表者名）

樋口正洋

4．学年

第2・3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会（選択授業）　64人

6．単元（本時の学習課題）名

「新聞を活用して、自己表現力を高めよう！」 ~　政党を作り、『DEBATE』で政策を戦わせよう~

7．目標(狙い)

①政策を明確に表現し、相手に「なるほど！」と言わせる立論作りを目指す。
②相手の政策や主張を理解し、自分たちの政策や主張と照らし合わせていく。

8．評価の視点

・自分の考えを自分の言葉で明確に表現する（相手に伝える）ことができたか。
・収集した様々な資料を活用し、政策の根拠を相手に示すことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

前期選択授業［13時間］　後期選択授業　［13時間］
『見出し』の考察、立論作り（8時間目）、『DEBATE』の実践（10時間目）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①グループ分け、『DEBATE』のルール説明（1時間）
②立論・質疑・反駁の説明、練習（3時間）
③『DEBATE』実践［1］（4時間）
④『見出し』の考察、立論作り（ＮＩＥ実践1）（2時間）
⑤『DEBATE』実践［2］（NIE実践2）（2時間）
⑥全体の反省、振り返り（1時間）

（留意点）
・『見出し』を活用し、短い文章で相手に言いたいことを明確に表現させていく。
・毎日、朝日、読売、産経新聞を読み比べさせ、同じ記事でも表現の違いによって、相手への伝わり方に違いがあるということ助言する。
・『見出し』を使った学習を、『DEBATE』実践［2］の立論作りに繋げさせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

生徒達は『見出し』の考察を通して、以下のような感想を持ち、どの後の『DEBATE』活動に取り組んだ。
「『見出し』は短い文章であるがとてもインパクトがある。自分たちもインパクトのある言葉を使って相手に自分たちの主張を印象づけたい。」「調べた資料の内容をそのまま伝えるのではなくて、簡単で分かりやすい言葉に直して主張したらいいと思いました。」

12．成果と課題

（成果）
・『見出し』を使った学習後では、インパクトのある政策名が多く見られ、話す内容が分かりやすくなってきた（『DEBATE』の実践に少し変化が見られた）。
（課題）
・まだまだ選択授業での内容なので、継続的に自己表現力を高めていくには、普段の授業に取り入れる工夫や他の教科との連携が必要だと感じている。